

小平市障がい児療育支援等委託事業（小平市連携事業）

杉山 貴洋・両角 美映\*

活動実績の概要

小平市連携療育委託事業は、市内在住の発達障がい児等の療育の促進と、発達障がいについて理解を深めることを目的として、以下6つの活動を実施している。活動の目的と意義は、障がい児の地域における発達支援、保護者や市民への障害理解の促進、学生の障害理解と実践力の向上などが挙げられる。

また、2021年度も、新型コロナウイルスの影響もあり学内開催による事業実施が一部できない状況となった。そのため、夏の演劇ワークショップを公民館に変更しての実施、造形ワークショップも6月スタートとし、開催の一部を公民館や福祉会館などに会場を変更しての実施となった。

（1）造形を通して子どもの発達を促すワークショップ

1 火曜造形ワークショップ：3歳から就学前の幼児を対象に、年間13回の実施。杉山ゼミナール主催

2 土曜造形ワークショップ：小学生（小1～小3）を対象に、年間11回の実施。学生有志の活動。

（2）演劇を通して大学生との交流を図るワークショップ

小学生を対象に夏休みと春休みに年間2回を実施する。夏休みのワークショップは、新型コロナウイルスの影響により公民館に会場を変更しての実施となった。

（3）おやこでたのしむおもちゃとあそびの広場

就学前の乳幼児及び小学生を対象に、年間24回実施した。

（4）障がい理解啓発事業

障がいに対する理解啓発を図るための市民講座を年間3回実施した。

（5）障がいのある子どもの保護者のネットワークづくり支援（みんなではなそう会）

障がいのある子どもの保護者等を対象に、年間23回実施した。

（6）親子でちょこっとテニス

小学校4年生以上の児童とその保護者を対象に、年間9回実施した。

\*共同実施者